



県の運営情報 | 暮らし・交流 | ビジネス・働く

県トップページ > 暮らし・交流 > 環境 > かながわの水源地環境の保全・再生をめざして > 施策の取組状況 >

かながわの水源地環境の 保全・再生をめざして

かけがえのない神奈川の水源地を守るために



特別対策事業の紹介

更新年月日・2008年9月●日

特別対策事業トップ

- 水源の森林づくり
- 丹沢大山保全再生
- 溪畔林整備事業
- 間伐材搬出促進
- 地域水源林整備
- 河川水路自然浄化対策
- 地下水保全対策
- 公共下水道
- 合併処理浄化槽
- 相模川水系流域環境共同調査

水環境モニタリング調査

県民参加による新たな 仕組みづくり

県民参加のページはこちら↓

県民参加による新たな 仕組み

水源環境保全・再生か ながわ県民会議

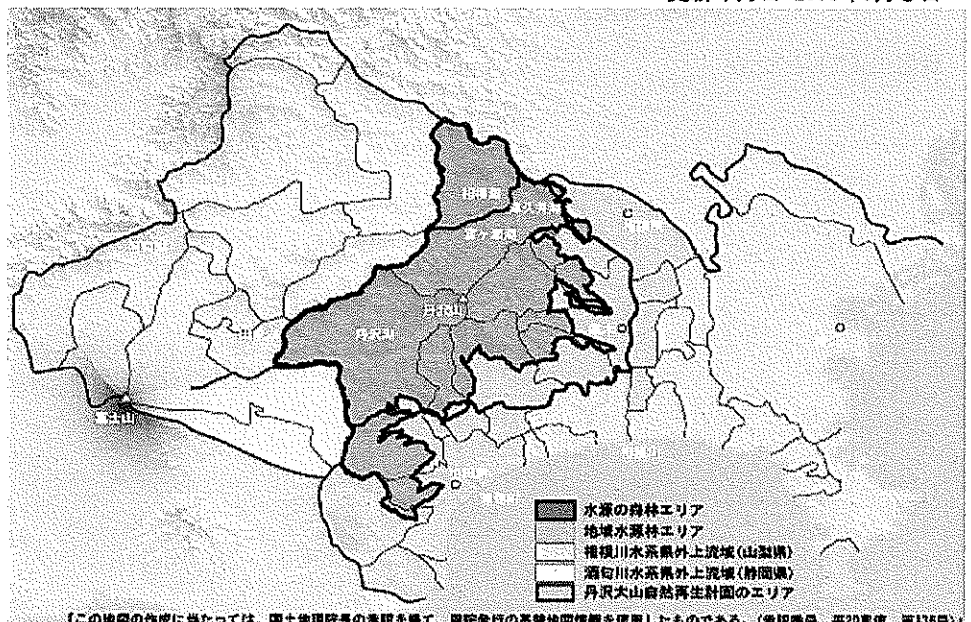
市民事業等審査専門 委員会

市民事業等支援制度

施策調査専門委員会

水源環境保全・再生か ながわ県民フォーラム

ニュースレター



画像を拡大

概要

「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」に基づき、水源環境保全・再生の取組みを効果的かつ着実に推進するため、20年間の第1期の5年間に充実・強化して取り組む特別の対策について紹介します。

計画期間

平成19年度から23年度

事業別目次

- 水源の森林づくり事業の推進
- 丹沢大山の保全・再生対策
- 溪畔林整備事業
- 間伐材の搬出促進
- 地域水源林整備の支援
- 河川・水路における自然浄化対策の推進
- 地下水保全対策の推進

市町村別目次

- 小田原市
- 相模原市
- 秦野市
- 厚木市
- 伊勢原市
- 海老名市
- 座間市
- 南足柄市

[出前懇談会](#)

[ご意見をお寄せください](#)

[県内ダム集水域における公共下水道の整備促進](#)

[県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進](#)

[相模川水系流域環境共同調査の実施](#)

[水環境モニタリング調査の実施](#)

[県民参加による新たな仕組みづくり](#)

[中井町](#)

[大井町](#)

[松田町](#)

[山北町](#)

[開成町](#)

[箱根町](#)

[真鶴町](#)

[湯河原町](#)

[愛川町](#)

[清川村](#)

[このページの先頭へもどる](#)

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#) [プライバシーポリシー](#) [著作権・免責事項](#) [情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



県の運営情報 | 暮らし・交流 | ビジネス・働く

県トップページ > 暮らし・交流 > 環境 > かながわの水源地環境の保全・再生をめざして > 施策の取組状況 > 特別対策事業の紹介 >

かながわの水源地環境の保全・再生をめざして

かけがえない神奈川の水源地を守るために



水源の森林づくり事業の推進

更新年月日・2008年9月●日

特別対策事業トップ

水源の森林づくり

丹沢大山保全再生

溪畔林整備事業

間伐材搬出促進

地域水源林整備

河川水路自然浄化対策

地下水保全対策

公共下水道

合併処理浄化槽

相模川水系流域環境共同調査

水環境モニタリング調査

県民参加による新たな仕組みづくり

県民参加のページはこちら↓

県民参加による新たな仕組み

水源環境保全・再生かながわ県民会議

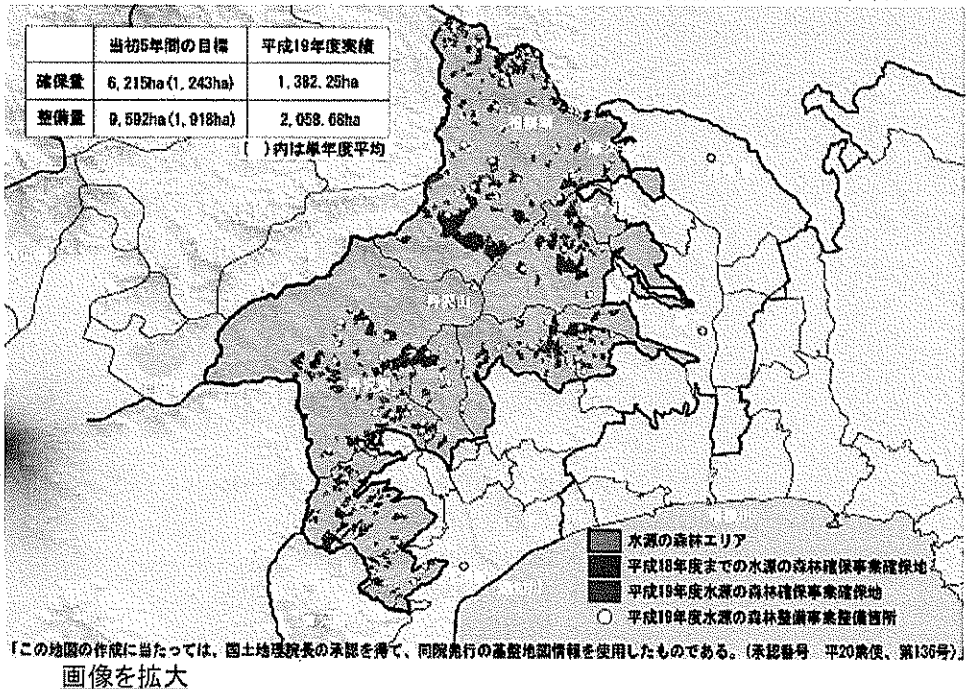
市民事業等審査専門委員会

市民事業等支援制度

施策調査専門委員会

水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム

ニュースレター



ねらい

良質で安定的な水を確保するため、荒廃の進む水源の森林エリア内の私有林の適切な管理、整備を進め、水源かん養林など森林の持つ公益的機能の高い「豊かで活力ある森林」を目指す。

目標

平成34年度までに水源の森林エリア内の手入れの必要な私有林27,000ヘクタールを確保し、平成38年度までに延べ65,974ヘクタールを整備することを目標として、当初5年間で6,215ヘクタールの確保、9,592ヘクタールの整備を行う。

事業内容

水源分収林、水源協定林、買取り、協力協約の4つの手法により、公的管理・支援を行い、巨木林、複層林、混交林など豊かで活力ある森林づくりを進める。さらに、これまでの取組をより一層推進するとともに、整備のスピード



出前懇談会

ご意見をお寄せください

アップ(確保後の初回整備を人工林は3年以内を2年以内に、広葉樹林は5年以内を3年以内に)や水源地域として重要な私有林の公有地化の拡大(確保目標9パーセントを12パーセントに)を図る。



公的管理・支援の方法

- 水源分収林: 森林所有者との分収契約により、森林を整備する。
- 水源協定林: 森林所有者との協定(借上げなど)により森林整備を行う。
- 買取り: 貴重な森林や水源地域の保全上重要な森林を買い入れ、保全整備する。
- 協力協約: 森林所有者が行う森林整備の経費の一部を助成する。

目標とする林型

- 巨木林: 樹齢100年以上の森林
- 複層林: 高い木と低い木からなる二段の森林
- 混交林: 針葉樹と広葉樹が混生する森林
- 広葉樹林: 林内植生が豊かな地域の自然環境に適応している広葉樹林

事業費

- 当初5年間計: 152億2,500万円(単年度平均30億4,500万円)
- うち新規必要額: 83億9,300万円(単年度平均16億7,900万円)

事業実施状況

平成19年度確保事業

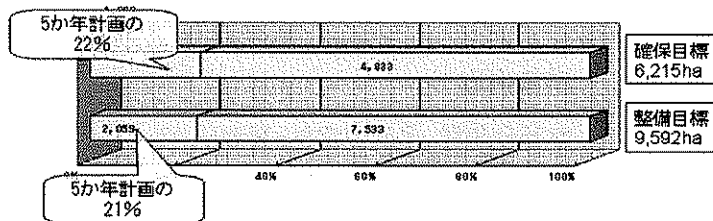
- 水源分収林: 8.8ヘクタール
- 水源協定林: 936.97ヘクタール
- 買取り: 109.22ヘクタール
- 協力協約: 327.26ヘクタール
- 合計: 1,382.25ヘクタール
- 執行実績: 6億2,946万円

平成19年度整備事業

- 県による整備: 1,500.1ヘクタール
- 協力協約による整備: 558.58ヘクタール
- 執行実績: 13億9,015万円

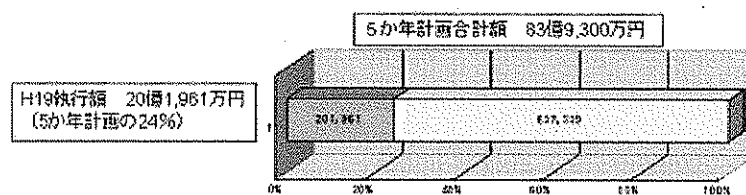
5か年計画進捗状況

- 確保目標: 6,215ヘクタール
- 平成19年度確保面積: 1,382ヘクタール(5か年計画の22パーセント)
- 整備目標: 9,592ヘクタール
- 平成19年度整備面積: 2,059ヘクタール(5か年計画の21パーセント)



予算執行状況

- 5か年計画合計額: 83億9,300万円
- 平成19年度執行実績額: 20億1,961万円(5か年計画の24パーセント)



平成20年度予定

- 予算額: 17億4,470万円
- 水源林確保: 1,398ヘクタール
- 水源林整備: 2,074ヘクタール

[このページの先頭へもどる](#)

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#) [プライバシーポリシー](#) [著作権・免責事項](#) [情報バリアフリー](#)

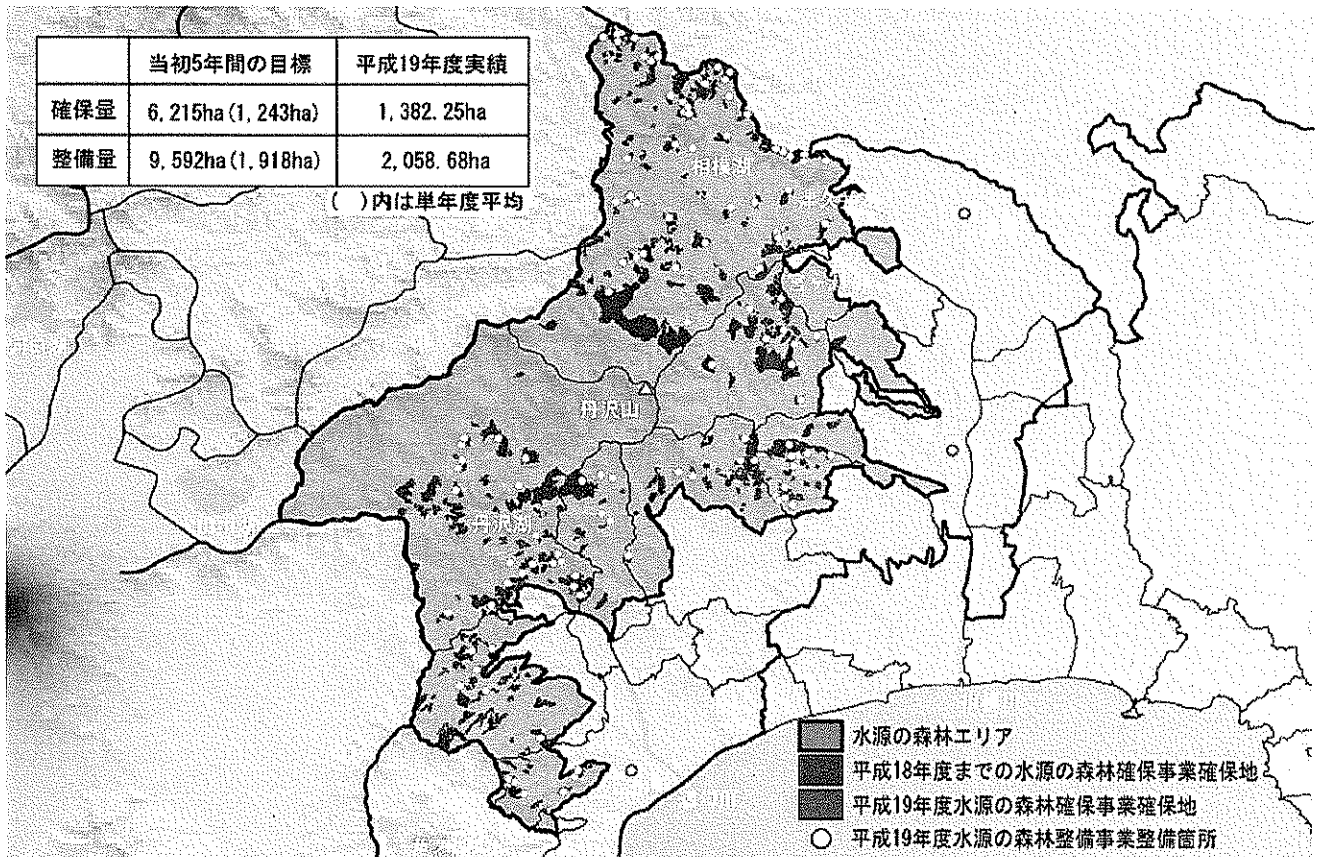
[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.

水源の森林づくり事業の推進: 神奈川県(拡大地図)

	当初5年間の目標	平成19年度実績
確保量	6,215ha(1,243ha)	1,382.25ha
整備量	9,592ha(1,918ha)	2,058.68ha

()内は単年度平均



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用したものである。(承認番号 平20業使、第136号)」

県トップページ > 暮らし・交流 > 環境 > かながわの水源地環境の保全・再生をめざして > 施策の取組状況 > 特別対策事業の紹介 >

かながわの水源地環境の 保全・再生をめざして

かけがえない神奈川の水源地を守るために



丹沢大山の保全・再生対策

更新年月日・2008年9月●日

特別対策事業トップ

水源の森づくり

丹沢大山保全再生

溪畔林整備事業

間伐材搬出促進

地域水源林整備

河川水路自然浄化対策

地下水保全対策

公共下水道

合併処理浄化槽

相模川水系流域環境
共同調査

水環境モニタリング調査

県民参加による新たな
仕組みづくり

県民参加のページはこ
ちら↓

県民参加による新たな
仕組み

水源環境保全・再生か
ながわ県民会議

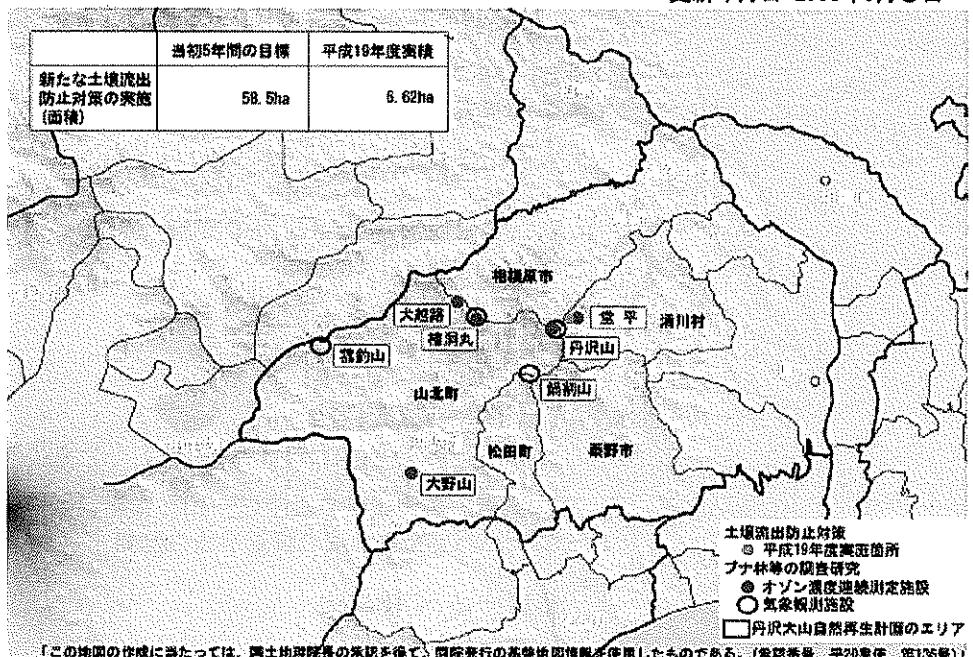
市民事業等審査専門
委員会

市民事業等支援制度

施策調査専門委員会

水源環境保全・再生か
ながわ県民フォーラム

ニュースレター



画像を拡大

ねらい

水源保全上重要な丹沢大山について、シカの採食圧や土壌流出等による植生の衰退防止を図るため、新たな土壌流出防止対策を講じることで、森林の保全・再生を図る。

目標

丹沢大山国定公園の核となる特別保護地区(1,867ヘクタール)において、20年間で延べ234ヘクタール整備することを目標として、当初5年間で58.5ヘクタールの整備を行う。

事業内容

新たな土壌流出防止対策の実施

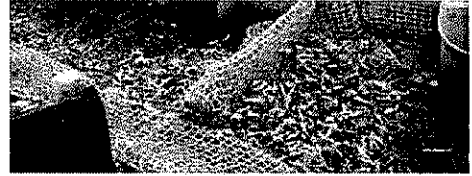
丸太筋工、丸太柵工、植生保護柵等を組み合わせた新たな工法により、土壌流出を防止するとともに、植生の回復を図る。



出前懇談会

ご意見をお寄せください

林床植生が衰退し、急激な土壌浸食の発生等が認められる場所への整備を優先的に進めるとともに、新たな丹沢大山保全計画(仮称)に基づき、整備区域を大幅に拡充する。



ブナ林等の調査研究

土壌成分やオゾン等がブナ林に与える影響を調査し、保全対策に反映させる。

県民連携・協働事業

樹幹保護及び登山道整備等の協働事業を実施することにより、県民と行政の連携を図る仕組みを構築し、県民参加を促進する。

事業費

- 当初5年間計：7億9,600万円(単年度平均額 1億5,900万円)
- うち新規必要額：7億9,600万円(単年度平均額 1億5,900万円)

事業実施状況

平成19年度執行実績：9,692万円

新たな土壌流出防止対策の実施

平成19年度

- 詳細地形測量等：4,450.00ヘクタール
- 土壌流出対策工：6.62ヘクタール

ブナ林等の調査研究

平成19年度

- 大気気象観測機材の設置(丹沢山、堂平、大野山)
- ブナハバチ発生状況の調査手法の開発

県民連携・協働事業

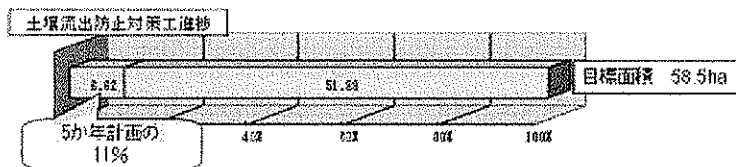
平成19年度

- 登山道の荒廃状況等、しくみの検討

5か年計画進捗状況

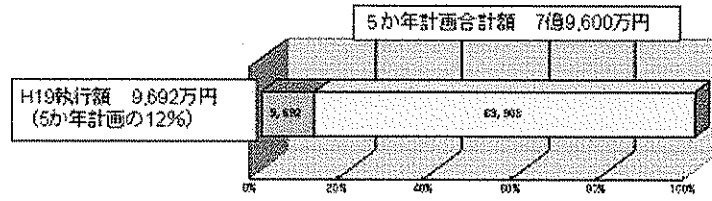
土壌流出防止対策工進捗

- 目標面積：58.5ヘクタール
- 平成19年度整備面積：6.62ヘクタール(5か年計画の11パーセント)



予算執行状況

- 5か年計画合計額：7億9,600万円
- 平成19年度執行実績額：9,692万円(5か年計画の12パーセント)



平成20年度予定

- 予算額: 1億5,030万円
- 土壌流出防止対策: 15.0ヘクタール
- ブナ林等の調査研究
- 県民協働型登山道維持管理補修事業ほか

[このページの先頭へもどる](#)

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#) [プライバシーポリシー](#) [著作権・免責事項](#) [情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.